

御鷲山古墳(下野市)

おわしやま

ここは御鷲山古墳の前方部/正面に説明板が立っている



反対側から見たところ



そこで左手(前方部から後円部方向)を見たところ



「しもつけ型古墳」と呼ばれる特徴(①墳丘の第一段目に低平で幅の広い、いわゆる基壇をもつ②前方部に石室をもつ③大型の凝灰岩切石を用いた横穴式石室～下野型石棺式石室～)をもつとった前方後円墳/基壇を含めた二段築成/6世紀末の築造

御鷲山古墳

史跡下野薬師寺跡の北側に位置する御鷲山古墳は、薬師寺台地上の北端・北原古墳群に属する六世紀末・古墳時代後期に築造されたと考えられている前方後円墳で、町内では三王山古墳(全長約七八m)に次いで二番目に大きなものである。

墳丘の全長は約六三m、高さ約五m、前方部の幅約二四mを測り、古墳をより大きく見せるために基壇を設けている。

埋葬施設は後円部と前方部のくびれ近く、南側に開口している凝灰岩切石積みによる横穴式石室で、早くから天井石の一部が外され盗掘を受けていたが、調査を行った結果副葬品として金銅製の馬具や鉄鏃など古墳の性格を解明する上で貴重な遺物が出土した。

平成四年三月



御鷲山古墳の墳丘測量図



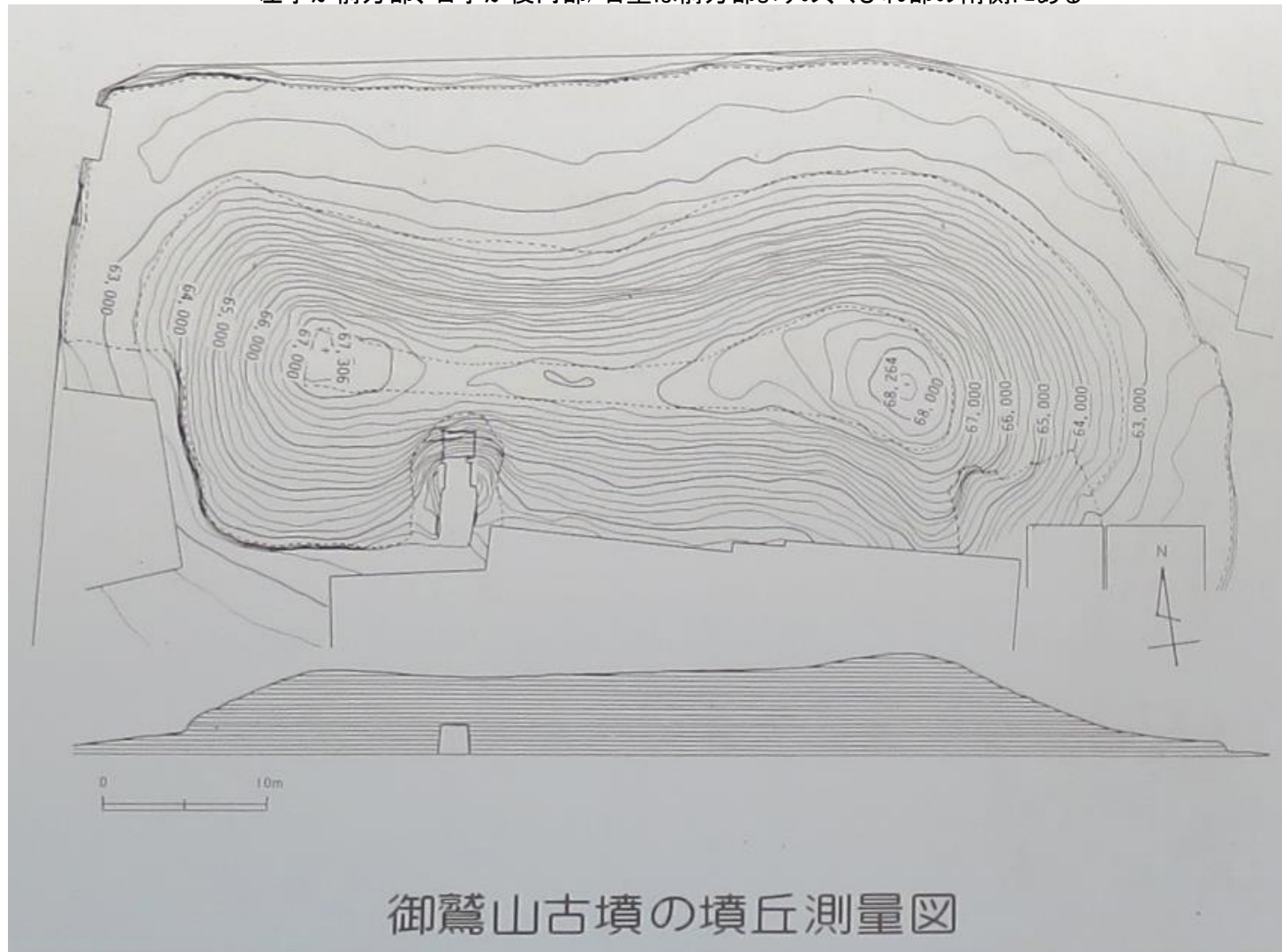
御鷲山古墳出土の馬具



御鷲山古墳の石室

下野市教育委員会

左手が前方部、右手が後円部/石室は前方部よりの、くびれ部の南側にある



御鷲山古墳の墳丘測量図

後円部から前方部方向を見たところ



東側から後円部を見たところ



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



南側から牛舎の屋根越しに見たところ/木々の所が墳丘だが、屋根が邪魔で見えない



さて、前方部から墳丘に登ってみる



南側に先程の邪魔な屋根が見える



前方部から後田部方向を見たところ



ここがくびれ部/その先は後円部



後円部



その先の状態



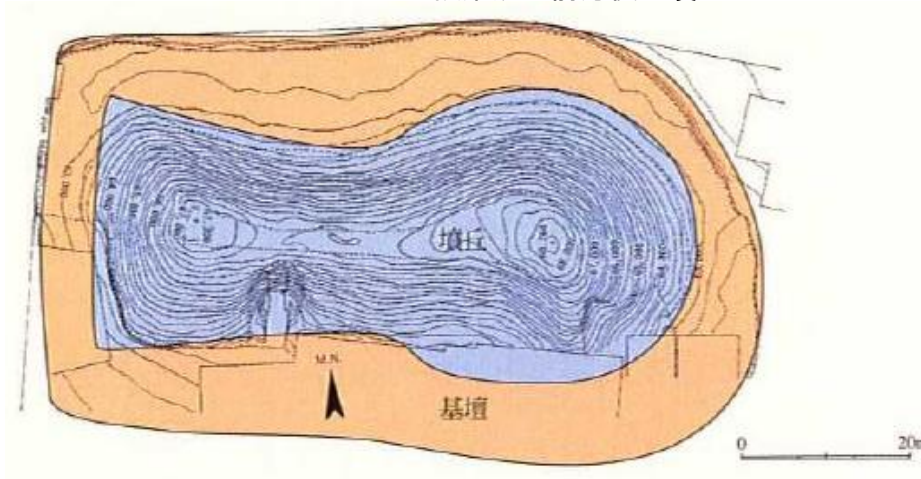
振り返ってくびれ部を見たところ/その先は前方部



左手に邪魔な屋根を見たところ/この辺りが石室が開口している部分/急斜面、かつ民地のようなので、見ることは断念



基壇の上に二段築成の前方後円墳



主体部は凝灰岩切石積みの両袖型横穴式石室



御鷺山古墳 石室

※いずれも下野市ホームページより

前方部の状態



この先から墳丘を下りる



こんな塩梅



参考ホームページ

<https://www.city.shimotsuke.lg.jp/manage/contents/upload/582184268c7a1.pdf>

<http://www.shimotsuke-bunkazai.com/culturalassets.php?id=39>

<https://ameblo.jp/fookky/entry-12352016865.html>

<http://kofunnomori.web.fc2.com/tochigi/minamikawachi/owashi.htm>

<http://obito1.web.fc2.com/simotukeoyama.html>

<file:///C:/Users/u7231/OneDrive/画像/しもつけ古墳群.pdf>

